

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-276265

(43)Date of publication of application : 30.09.1994

(51)Int.Cl.

H04M 1/27

(21)Application number : 05-058322

(71)Applicant : KYOCERA CORP

(22)Date of filing : 18.03.1993

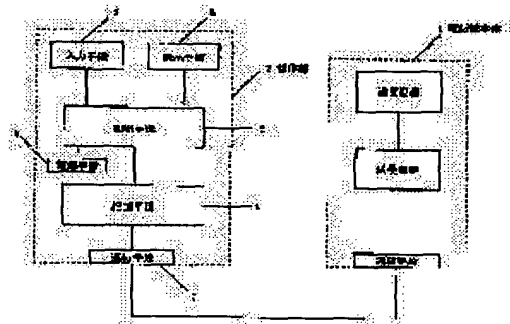
(72)Inventor : YAMAMOTO NORIHIRO

(54) PORTABLE TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide an improved portable telephone set adaptive for the storage and display of a telephone set or information for appointment, etc., inputted while speech is being held.

CONSTITUTION: This telephone set is a portable telephone set provided with an operating part 2 loadable/unloadable on a telephone set main body 1 and constituted of an input means 3 to input the telephone number or the information for the appointment, etc., inputted while the speech is being held with a push-button or touch pen, etc., a storage means 4 to store those inputted information, a display means 5 to display those inputted information, a control means 6 to control those means 3-5, a connection means 7 to transfer the information between the operating part 2 and the telephone set main body 1, and a power source means 8.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-276265

(43)公開日 平成6年(1994)9月30日

(51)Int.Cl.⁵
H 0 4 M 1/27

識別記号

庁内整理番号
7190-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平5-58322

(22)出願日 平成5年(1993)3月18日

(71)出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市山科区東野北井ノ上町5番地の22

(72)発明者 山本 典広

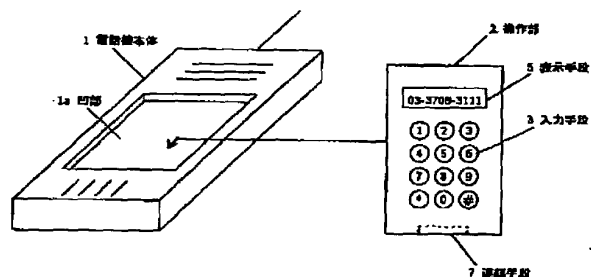
東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号 京セラ株式会社東京用賀事業所内

(54)【発明の名称】 携帯電話機

(57)【要約】

【目的】通話中に入力された電話番号もしくはアポイントメント等の情報を記憶、表示するのに好適な改良された携帯電話機を提供する。

【構成】本発明は、通話中に入力された電話番号もしくはアポイントメント等の情報をプッシュボタンもしくはタッチペン等で入力するための入力手段と、これら入力された情報を記憶するための記憶手段と、これら入力された情報を表示するための表示手段と、これらの各手段を制御する制御手段と、操作部と電話機本体間で情報を授受する連結手段と、電源手段とからなる電話機本体から着脱可能な操作部を有する携帯電話機である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話機において、通話中に入力された電話番号等の情報を入力するための入力手段と、これら入力された情報を記憶するための記憶手段と、これら入力された情報を表示するための表示手段と、これらの各手段を制御する制御手段と、操作部と電話機本体間で情報を授受する連結手段と、操作部を電話機本体から分離した際に操作部の各部に電力を供給する電源手段とからなる電話機本体から着脱可能な操作部を有することを特徴とする携帯電話機。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、通話中に入力された電話番号もしくはアポイントメント等の情報を記憶、表示する携帯電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の携帯電話機においては、電話機本体に発信用のプッシュボタンが取り付けられており、これを利用することで番号案内等で尋ねた電話番号を通話中にプッシュボタンで入力し、その入力番号を記憶、表示し、電話番号のメモに利用している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の携帯電話機は電話機本体にプッシュボタン、スピーカ部、マイク部が一体となっておりこの電話機を用いて、実際の会話中に番号等を聞きながら同時にプッシュボタンで番号をメモすることはかなり困難である。また電話機本体が小型化および軽量化の傾向があり、番号を一度聞いてから利用者本人が記憶もしくはメモした後あらためて電話機を手元に寄せてボタンを確認しながら番号を入力しなければならず、操作性が必ずしもいいものではなく、またそのメモする過程において間違いが生じ易い。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明はこれら従来技術の問題点を解決するためのものであり、携帯電話機であって、通話中に入力された電話番号もしくはアポイントメント等の情報をプッシュボタンもしくはタッチペン等で入力するための入力手段と、これら入力された情報を記憶するための記憶手段と、これら入力された情報をLCD等のディスプレイもしくは音声発生機等により情報を表示、アナウンスするための表示手段と、これらの各手段を制御する制御手段と、操作部と電話機本体間で情報を授受する連結手段と、操作部を電話機本体から分離した際に操作部の各部に電力を供給する電池等の電源手段とからなる電話機本体から着脱可能な操作部を有する携帯電話機である。

【0005】

【作用】 本発明は上述のように、入力手段としてのプッシュボタン等を設けた操作部がカード形状であり、かつ

電話機本体より着脱が可能であるので、操作部を操作し易い場所に移動させることにより、番号等を聞きながら同時に番号等の情報を入力し、この記憶が可能となる。また表示手段によりこの番号を文字もしくは音声で確認できるので、入力の過程による誤入力を同時に回避することが出来る。

【0006】

【実施例】 以下図面を参照しながら本発明の実施例について詳細に説明する。図1は本発明の実施例による電話機の概略斜視図、図2は図1で示した電話機本体1および操作部2の回路構成を示すブロック図であり、各図において同じ部材は同じ記号で示す。

【0007】 図1において、電話機本体1は上面に浅い凹部1aを有しており、その凹部内にカード形状の操作部2が着脱可能に装着されるように構成されている。図2において、2は操作部、3は通話中に入力された電話番号もしくはアポイントメント等の情報をプッシュボタンもしくはタッチペン等で入力するための入力手段、4は入力された情報を記憶するための記憶手段、5は入力された情報をLCD等のディスプレイもしくは音声発生機等により情報を表示、アナウンスするための表示手段、6はこれらの各手段を制御する制御手段、7は操作部2と電話機本体1間で情報を授受するためのコネクタ、無線通信機もしくは光通信機等の連結手段、8は操作部2を電話機本体1から分離した際に操作部2の各部に電力を供給する電池等の電源手段である。

【0008】 つぎに、このような構成における動作について説明する。番号案内や通話相手から聞いた電話番号を入手し、これをメモする必要があるときプッシュボタン等の入力手段3により、番号を入力する。入力された番号は記憶部4に蓄積されると同時に、表示部5に表示する。また記憶部4に蓄積されている電話番号において操作部を本体に接続し、転送ボタンを操作することで、この番号の相手先に対し自動発呼する。これにより、メモした番号をあらためて入力する必要はなく、その過程による入力ミスを防ぐことができる。

【0009】 また操作部2に内蔵される電池等の電源手段8は電話機本体1と分離したときのみ使用されるが、この電池は充電可能な2次電池としてもよい。電源手段8が電話機本体1と操作部2の2系統となることで、常に操作部の情報を保持できるので、別の電話機本体1に操作部2を装着することで、記憶部4に取り込まれた番号を利用することができる。

【0010】

【発明の効果】 以上の説明から明らかなように、本発明は、携帯電話機本体よりカード形状の操作部を着脱可能な構成とすることにより、操作部を手元におくことができ、このことにより番号等を聞きながら同時にこれをメモすることが出来る。これにより一度聞いた番号を利用者自身が記憶する過程が不要となり、誤入力防止および操

作性を向上させることができる。また入力する際に番号を直接目で確認しながら操作を継続することができ、操作部を本体に装着することで記憶している番号を自動発呼できる。さらに電源を2系統としたことで操作部で記憶しているデータの有効利用ができる。つまり別の本体に対して、自分の操作部を用いることで個人のデータの本体間における相互利用が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による携帯電話機の実施例を示す概略斜視図。

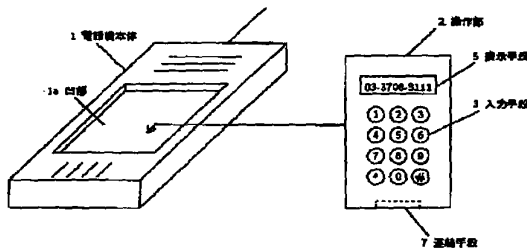
【図2】 電話機本体および、本体より着脱できる操作部の回路構成を示すブロック図。

部の回路構成を示すブロック図。

【符号の説明】

- 1 電話機本体
- 1a 凹部
- 2 操作部
- 3 入力手段
- 4 記憶手段
- 5 表示手段
- 6 制御手段
- 7 連結手段
- 8 電源手段

【図1】



【図2】

